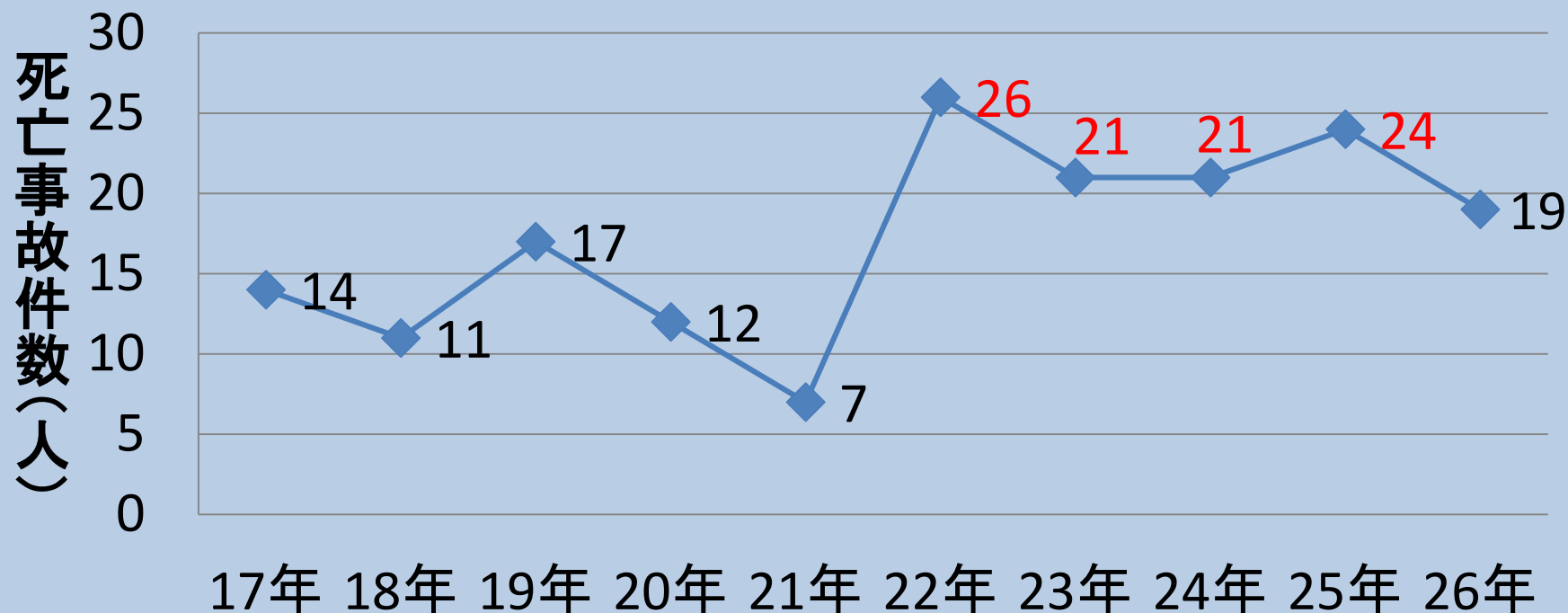


# V 暑いときの作業

## 熱中症による事故の実態



10年間で172件の死亡事故が発生しており、その内訳は、普通畑(92件)、田(29件)、施設(19件)となっています。

農林水産省農作業安全対策HP「28年度熱中症対策のページ」より



# V 暑いときの作業

下の絵を見ながら、チェックするポイントを整理しましょう。

- ①体調管理と休養
- ②服装
- ③水分の補給



# V 暑いときの作業

事項	チェック内容	チェック欄		対策優先
		そうだ	ちがう	
体調管理・ 休養	日頃から体調に気を使い、作業時は定期的に日陰で休んでいる。			
水分の補給	のどが渴いていなくても、定期的に水分を補給している。			

リスクカルテ解説書:「農業生産工程管理(GAP)と農作業安全」p18、「健康管理」p66、「熱中症予防」p68、「熱中症対策」p70 参照

- ✓ 日頃から体調に気を使い、作業時は定期的に日陰で休んでいる。
- ✓ のどが渴いていなくても、定期的に水分を補給している。

## 《事故事例》

### 夏場、ビニールハウス内(死亡)

①ビニールハウス内において、野菜のつる落としに従事していたが、13時過ぎに倒れているところを発見され、その後死亡。  
(平成22年7月 13時頃、60歳代)

②ビニールハウス内において、農薬散布に従事していたが、15時過ぎに倒れているところを発見され、その後死亡。  
(平成22年7月 15時頃、30歳代)

厚生労働省「熱中症による死亡災害発生状況(平成22年)より

《なぜ》暑さに体が慣れていない梅雨明け直後に、農作業中の熱中症事故が多発しています。この時期には特に注意が必要です。

✓ 日頃から体調に気を使い、作業時は定期的に日陰で休んでいる。

✓ のどが渴いていなくても、定期的に水分を補給している。

### 《改善のポイント》

熱中症は予防できます。暑さを防ぐ対策を取り、休憩と水分補給をこまめにとることを心がけます。

#### [ 水分補給 ]

- こまめな水分補給
- 気温の高い時間は作業をしない
- こまめな休憩



#### [ 熱中症になりにくい室内環境 ]

- ハウスや畜舎等の換気
- 遮光や断熱材の施工等による温度上昇の防止

